

みずほ学園のいいところ



児童2人に指導員1人

- ・国による指導員の配置基準は「児童4人に対して職員1人」ですが、「児童2人に対して職員1人」を配置しているため、児童一人ひとりの特性や成長に合わせたきめ細かな支援や、身辺自立に向けたスムーズな対応のほか、各家庭の状況に寄り添いながら丁寧な支援を行っています。



愛着関係の深まりを大切に

- ・園の特色である「親子通園」で愛着関係の深まりを大切にするとともに、身近に相談できる場として保護者の抱える悩みなどへの支援を行っています。
- ・児童に対する関わり方や遊び方などを指導員と保護者が一緒に体感することにより、認識の共有や自宅での支援に活かせるほか、保護者同士のネットワークが生まれるなど家族支援に繋がっています。
- ・児童も保護者としてしっかりした時間を過ごすことができるため、単独通園に切り替わった際も生活の安定に繋がっています。



専門職による指導・支援

- ・通園しながら、専門職（理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士）による専門的な指導や支援を受けられるほか、担任と共有することで園児に適した療育を行っています。



バス送迎・自園給食など充実

- ・広い園舎、広い園庭、園バスによる送迎、自園の給食があるなど環境面が充実しています。



公立なので保護者の方も安心

- ・公立であることにより保護者の方も安心して療育を受けることができます。
- ・昭和47年5月に開設して以後、療育を推進してきた歴史や実績があります。
- ・市の関係課（障がい福祉課、子ども未来応援センター、教育相談室、特別支援学校など）とスムーズに連携を図ることができます。